

勸善懲惡錦画面解

官説

第卅五號

時習舎述

のま街魚



大坂第天區十九小區梅櫃の本筋南本町南入塗師職龜井
 久兵衛の女房おいくといふ其身懐妊つゞき目下四七の女子を抱
 當七月七日の夕ぐさ家出て安治川小身を投げ四七の小息と
 ころも子と三命を一時失入り、さうすゝ誤と尋ねる小此家小六の
 うぢちう奉公する龜吉と云ふものと、いひ有は世間の評判をりぢ
 至人も聞捨て置れども此おいくの姉を呼び、いふ実小左様の事有
 へ家の事をいふより、いふ事や、実否を糾一これと密小
 談合するを聞て家出せし車へと、実小六の事有て
 面目をさ小身を投し、又ハねれぎぬ着るるをさ小身を
 投し、今ハ死人小口を、色、其山吹ハ実小左を、是ハ懐妊
 と、れのもう、さんもあゝね雅子造
 と、も小沈む、安治川の、ワト、さ
 を、さ、身、の、さ、う、り、き、や、と、小、家、ハ、ハ
 十、七、の、女、子、と、七、七、の、男、子、も、有

おいくの
 さうすゝも
 うりもねとい
 ころもさう
 あり

出版所 本町四丁目 藤井時習舎

勸善懲惡錦画面解35号 文庫10-8072-16

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

